

日本教育社会学会第 72 回大会 (関西学院大学) 発表に向けて
発表テーマと要旨

新型コロナ危機が顕在化させた人口減少下の公立学校の脆弱性

—教育事象における格差概念の再定位を視野に—

- 西本宏輝 (琉球大学)
- 馬居政幸 (静岡大学(名))
望月重信 (明治学院大学(名))
春日清孝 (明治学院大学(非))
藤田由美子 (福岡大学)
角替弘規 (静岡県立大学)
遠藤宏美 (宮崎大学)
- 印 発表者

我々は新型コロナウイルス感染症が公立学校の優位性の基盤を脆弱性に転換させることを危惧する。長期休校は均質均等とされる教育の内容・方法(教員資格、学習指導要領、教科書、教具)と時空環境(教室、職員室、時間割、廊下、運動場)を行使困難にした。

さらに感染の都鄙間差異は自治体と学校間の休校期間と 3 密防止策の差に伴う授業力差をもたらす。

本研究においては、その差の特性の考察を、沖縄、静岡、秋田の比較により、特定教科の認知力と家庭経済力の数値化可能な差異を格差とみなす教育事象の妥当性の範囲を問う観点から試みる。

開催日 2020 年 9 月 5 日(土)・6 日(日)

会場 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス